

14日から水俣

病の現地診断

徳臣熊大助教授ら

熊大医学部第一内科の徳臣助教授ら八人は十四日から水俣市湯島、袋、茂道、月ノ浦など水俣病発生地区住民約四千人（幼児を含む）を対象に一人三分間ずつ現地診断を行なう。これら地区住民を検診してカードをつくり将来の基礎資料として備えつけるもので、水俣病の疑いのあるものは精密検査することになっている。日程つぎの通り。（一般は公民館または青年

クラブ、小中学生は学校）

▽十四日茂道▽十五日袋▽十六

日湯島▽十八日月ノ浦、

坂口▽十九日高岡、橋、妙神。